

# モスクワ向け 日本食PRで

東洋トランスは先月末、安倍首相のロシア訪問に合わせて行われたモスクワでの日本食PRイベントで供される食品などの航空輸送サポートを実施した。輸送は通常の定期航空旅客便に搭載されたものに加え、一部は



日本産の食品など  
約1トンを輸送した

## 安倍首相訪露で輸送サポート

### 東洋トランス

安倍首相が搭乗した政府専用機で輸送された。同社は、定期便に搭載される貨物のフォワード・インク・通関、モスクワでの貨物受け取りなど現地空港内での取り扱いと、モスクワでの配送業務を手がけた。

30日に開催された同イベントでは、政府関係者・現地メディアなどが招かれ、日本食品・食材が紹介された。輸送された食品は、日本酒、寿司用の鮮魚、野菜、そば打ち道具など。輸送重量は約1トン。荷受人は日本大使館。東洋トランスの担当者によると、ロシア向けの食品の輸出について政府主導の取り組みが進められているが、現地側での通関などの問題もあり、あまり伸びていないという。「今回

のイベントで日本食の輸出に弾みがつけば」と話している。

東洋トランスは他の日系物流

業者に先駆けてロシアに進出しており、今回のDIP（大使館および外交官宛て）貨物など特殊貨物をはじめとした専門性の高いサービスを提供できるのが特徴だ。また今回の輸送でも必要となった保冷トラックの確保、空港へのトラック入港など、現地の特殊事情を熟知して一貫したサポートが提供できる点は強みとなっている。

同社はモスクワ・シェレメチエボ空港近郊に自営倉庫を構え、保管を含むロジスティクスサービスを提供している。通関まで一括して輸送をサポートできるのが同社の強みだ。通関ライセンスを取得している日系物流企業は、東洋トランスを含めて2社のみ。DIP貨物だけでなく、複雑なロシアでの通関や保税輸送について、きめ細かいサポートを提供する。

無断転載禁止